



おおとり協力隊 新聞

『タキタロウ祭り』開催！

5月26日に、タキタロウ祭りが開催されました。
今年で28回目。長い歴史を感じます。今年は
3400人以上ものお客さんにご来場頂き、今年も
大盛況で幕を閉じました。あんなにも沢山の子ども
たちの楽しそうな姿を見て、内心ホッコリして
いました。

大島に住んでいる方々は、運営側として協力頂い
ている方が殆どだと思いますが、準備の段階から
当日まで、本当にお疲れ様でした。

今年も沢山の子どもたちに喜んで貰って帰って頂けたの
は、昔からずっとタキタロウ祭りを守ってきた皆
さんのおかげだと思っています。そして、反省会も
含めて無事に、楽しくお祭りが終わったことが何
よりも良かった。(田口)



隊員 自己紹介



写真：大島自然の家の前にて

砂山 元(すなやま はじめ) 35歳 (写真右)

東京墨田区に生まれ育ち、静岡県で中高時代を過ごしました。大学時
代に過ごした静岡での5年間で庄内の食や文化、自然環境に惚れ込みいつ
かは庄内で暮らしたいと考えていました。

しばらく山からは遠ざかっていましたが、高校時代のワンダフォーゲ
ル部魂に再び火を灯し、登山を趣味で再開します。

田口 比呂貴(たぐち ひろき) 26歳 (写真左)

法政大学経済学部卒業。電子部品メーカーの営業を2年間経験し今に至
る。

好きな言葉：知覚動奇(ともかくうごこう)

= 『知って、覚えたら、考えるのではなくまず行動してみる!』という
造語。

田口隊員連載コラム『大島に恋して♪』

僕は今まで都会でしか生活をしたことが無かった。少し電車に乗れば、渋谷・新宿が目の鼻の先。日本の最先
端、東京で、めまぐるしく移り変わる情報の中で何をしたら良いかわからない僕の頭は右に左に傾いたりしてい
た。IT会社の社長や中小企業診断士と仲良くなった。富士山にも登った。ヒッチハイクもした。フィリピンへ英
語留学もした。断食も1週間した。スカイダイビングもやった。興味あることに片っ端から挑戦してみた。でも
それは、自分の生活を賭けた挑戦ではなく、自己欲求を満たす為だけの行動だったと思う。友達には『寒い
ね!』と評価された。感化されて行動が変わった友達もいた。でもそれは、誰かに感謝されるような挑戦では無
かった。

だからこそ、仕事も住み慣れた街も離れて、縁もゆかりも無い、仲間もいない大島という新天地で『人に喜んで
もらえる新しい何か!』に挑戦したいと強く思っています。

「大鳥で1ヶ月過ごしてみても・・・」

『大鳥 タキタロウ村』

フェイスブックページ立ち上げました！

大鳥での生活やイベントなどを世の中に広く知ってもらう為の情報発信のツールとして運用します。

名前：大鳥 タキタロウ村

URL：<http://www.facebook.com/otoritakitaramura>

フェイスブック(facebook とは)

複数の友達に対して自分の思うことや活動などをインターネット上に投稿していく、掲示板のようなもの。フェイスブック上に記事を投稿すれば、友人とのメッセージのやり取りができ、インターネット上でコミュニケーションが取れる。連絡先もわからなかった友人とフェイスブック上で再会し、実際に会って飲みに行ったりなんてこともよくある話。

広くは、インターネットが使える環境にあれば殆どの場合、誰でも閲覧可能であるので、広告として使用している個人・企業も多い。(田口)

砂山隊員

一番感じるのは「動物としてのヒト」として過ごすのにこんなに素晴らしい環境はそうそうないんじゃないか、という想いです。春夏になれば山菜が一斉に芽吹き、秋はキノコで体を整えて来るべき季節への備えをし、冬は保存食を活用して乗り切る。連綿と培ってきた地に足の着いたシンプルな暮らしがここにはまだまだ生きている、と。

一方では大鳥でも道路及び通信網の整備が進み、求めれば「社会的な人」としての部分においても充足できる環境が整いつつあるように感じています。

今年、初めて大鳥での厳冬を過ごすことで、来年の春の喜びがどんなものになるのか。春が進んでいく、そのとてつもない勢いを垣間見た今はそれが本当に楽しみです。(皆さんからは甘いと言われそうですが・・・)

都市生活の中で失われてしまった自らの野生的な部分、本能的な部分を少しずつでも取り戻していきたい、そんなことを考えていた1ヶ月でした。

田口隊員

一ヶ月前から今まで過ごして一番感じた変化は、景色。

大鳥に来た当初は、5月なのに残雪があり、冬のように寒い…扇風機を持ってきたのに早速押し入れにしまってしまう始末。

大鳥の冬は厳しいと聞いていましたが、残雪を見るだけで想像を遥かに上回っていました。

タキタロウ祭りが近づくにつれてフキやゼンマイが顔を出し始め、山菜取りなどでせわしくなってくる大鳥の方々の姿を見て、大鳥の春を感じました。

川のせせらぎ、カエルや鳥の鳴き声、木々が風で揺れる音など、都会では感じられない生きた自然と共に生活していると、心も穏やかになっている気がします。穏やかになりすぎて、曜日や時間の感覚が良くわからなくなってしまいました。

これから夏場本番で、イベント行事で忙しく時間が過ぎていきますが、ここにある自然の変化を感じながら、これからも生活していければと思います。

協力隊の5月活動状況

地域おこし協力隊として大鳥に赴任して1ヶ月あまり。日々どのような活動を行っているのか？というご質問を頂戴することが多くありました。

そこでこのコーナーでは協力隊が日々どのような活動を行っているのか、その一端をご紹介します。

<集落の皆様への聞き取り調査>

今現在、砂山が松ヶ崎集落と寿岡集落、田口が繁岡集落を周って大鳥全体の魅力や課題などを伺っています。それを基に今後の協力隊としての活動指針を打ち立てて、具体的な活動に結び付けていければと考えています。

まだ周れていないお宅もありますが、お忙しくない時分に少しでもお時間を頂ければ幸いです。

<イベントのお手伝い>

大鳥を舞台としたイベントのお手伝いも重要な業務として参加させていただいています。5月は「タキタロウまつり」の準備や「てくてく健康里山あるき」の随行などを様々なイベントの補助を行いました。

<自然の家のお手伝い>

つり橋の補修作業やキャンプ場の整備、そば打ち体験などイベント補助などを行いました。

以上、私的なお手伝いなどは「業務」としてはできない部分があったりと私たちも悩ましく感じることもありますが、まだまだ始まったばかりですので、今後とも私たちの活動を見守っていただければと思います。(砂山)

【募集】パソコン教えてください！

パソコンを使ってどんなことができるの？と思う方も多いかと思います。

インターネット上で山菜を販売したり、家にある不要なモノを売ったり、農具から本、服、食品に至るまで殆どものは購入できます。ついでに買いに行く時間やガソリン代の節約にも繋がります。

インターネットを使った情報発信、ホームページ作成、写真・動画の編集から買い物、調べものまで、パソコンについてのお悩み事があれば一度ご相談下さい。(田口)

発行元：大鳥地区地域おこし協力隊
住所：鶴岡市大鳥字寿岡112(大鳥自然の家)

隊員連絡先
砂山隊員：080-5099-5596
田口隊員：090-7757-7491